

I-2) 月別の海洋状況

沖縄北西側海域 (沖合定線調査海域)

昭和48年5月8日～5月11日

表面水温 19.9℃～26.1℃で黒潮流域は25℃～26℃台を示した。

100m層水温は17.23℃～24.44℃で黒潮流域は23℃～24℃, 200m層は18℃～19℃台を示した。表面塩分は33.58‰～34.96‰, 100m層は34.48～34.89‰であった。

透明度は24～29mであった。

黒潮流軸は伊江島北西100m付近と久米島北西53m付近にあった。

昭和48年7月24日～7月28日

表面水温は27.8～29.3℃黒潮流域は28～29℃台で前回比(5月上旬)+1.9°～+8.4℃。

100m層水温は21.97～24.37℃で前回比-1.75°～+5.0℃。200m層水温は17.52～19.87℃で前回比-2.11～+4.11℃。

表面塩分は32.94～34.69‰で前回(5月上旬)比-1.38～-0.032‰, 100m層塩分は34.60～34.85‰で前回比-0.15～+0.16‰, 透明度は沖合24～32m大陸棚上20m。

黒潮流軸は伊江島北西100m, 久米島北西66mにあり5月上旬に比べて西寄りである。

昭和48年10月15日～10月17日

表面水温は25.5～27.5℃で前回比(7月下旬)-1.0～-1.9℃, 200m層は15.18～

21.05℃で全般に前回比低目。表面塩分は34.11～34.59‰で前回比大陸棚上高カン, 他海域は低カン, 200m層は34.41～34.86‰で黒潮流域は前回比低カンで他海域は高カン。

透明度は22～24m。黒潮流軸は伊江島北西98m, 久米島北西56mにあり7月下旬に比べて東寄りである。

昭和48年11月26日～11月28日

表面水温は22.6～25.2℃で前回比(10月中旬)-0.9～-3.5℃, 200m層は13.82～

21.41℃。表面塩分は34.54～34.80‰で前回比+0.15～0.4‰高カン。200m層塩分は34.58～34.96‰。透明度は19～24m。

黒潮流軸は伊江島北西86m久米島北西47mで前月に比べて大きく東に寄っている。

昭和49年1月16日～1月18日

表面水温は19.5～23.3℃で前回(11月下旬)-1.9～-3.2℃, 200m層水温は13.78～

20.91℃。表面塩分は34.53～34.81‰で前回比-0.16～+0.21‰。200m層塩分は34.49～34.75‰で前回比-0.11～-0.21‰。透明度は16～21m。

黒潮流軸は伊江島北西92m, 久米島北西77mにあり, 11月下旬に比べ西寄りになっている。

昭和49年3月28日～3月31日

表面水温は19.6～23.9℃で前回(1月中旬)に比べ+0.1～+3.0℃, 200m層水温は

14.10～20.86℃。表面塩分は34.38～34.87‰で, 200m層塩分は34.51～34.99‰であった。透明度は10～24m, 黒潮流軸は伊江島北西81m, 久米島北西43mにあり1月中旬に比べ東寄りである。

沖繩東側海域 (沿岸定線調査海域)

昭和48年5月8日～5月9日

表面水温は23.9～25.2℃で前回比(3月下旬)+1.4～+2.8℃, 沖合から中城湾口に向けて25℃34.75%台の高温高カン水が舌状に伸びている。前回に比べ水温は上層で高目, 200m層で低目を示す。表面塩分は34.41～34.78‰。透明度は17～25m。

昭和48年5月28日

表面水温は金武湾内23℃台沖合24℃台で前回比(3月下旬)+1.9～+2.7℃。水温塩分の表面水平分布から23℃, 34.10%台の沿岸水と24℃, 34.20～34.50%台の沖合水がみられる。透明度は16～21m。塩分の垂直分布から0～10m層は34.10～34.40%の低塩分を示し20～200m層は34.60～34.70%台であった。

昭和48年6月28日～6月29日

表面水温は26.9～28.4℃先月比+1.9～+4.0℃で大きく昇温した。表面塩分は34.52～34.75‰で5月上旬に比べ-0.02～0.34‰。沖合から中城湾口にかけて24℃台, 34.60%台(50m層)の低温低カン水の流入がうかがわれる。透明度は200m以浅の島棚上, 湾内で20～27m, 沖合31～40m。

昭和48年7月27日

表面は27.2～28.4℃, 34.22～34.38‰で前月比-0.6℃～+1.4℃, -0.46‰～-0.05‰であった。透明度は中城湾内18m沖合30～42m。垂直分布から100m～200m層は18℃～22℃台, 34.70%台を示し, 上層(50m以浅)が前月比概して高目低塩分を示したのに対し100～200m層は低目, 高塩分を示した。

昭和48年8月24日～8月25日

表面水温は27.4～28.0℃で前年比-0.2～-2.1℃, 表面塩分は34.29～34.53‰で前年比, 沿岸よりは+0.01～+0.05‰, 沖合-0.01～-0.08‰。透明度は20～40mで前年同期に比べ低い。水温, 塩分の垂直分布から中城湾口では中層水が島棚斜面に沿って上昇しており, 一方金武湾口では湾内水が島棚斜面に沿って沖合中層へ流去している傾向がうかがわれる。

昭和48年10月18日

表面水温は26.1～27.1℃で8月下旬に比べ-1.8～-0.4℃。表面塩分は34.45～34.56‰で前回比やや高カンである。透明度は26～37m。水温, 塩分の垂直分布は表面～50m層は26℃, 34.50%台, 150m層は19℃, 34.70～34.80%台を示した。70～80m層に躍層がみられる。

昭和48年10月30日～11月4日

表面水温は24.5～26.0℃, 表面塩分は34.34～34.59‰, 150m層は18.87～21.08℃, 34.67～34.88‰を示した。水温塩分の垂直分布から中城湾口, 金武湾口へ中層水(低温高カン水)が島棚斜面に沿ってはい上る傾向がうかがわれる。

昭和48年12月14日～12月18日

表面は22.8～23.8℃, 34.63～34.86‰, 150m層は20.92～22.54℃, 34.72～

34.92%を示した。水温塩分の垂直分布から中城湾口から沖合に向かって流去しているが金武湾口では沖合から中層水のはい上の傾向がみられる。

昭和49年1月19日

表面は20.8~21.7℃, 34.56~34.75‰, 150m層は19.70~20.98℃, 34.74~34.77%を示した。透明度は10~19m。水温塩分の垂直分布から中城湾口で中層水のはい上りがみられる。

昭和49年2月20日~2月21日

表面は21.1~21.8℃, 34.76~34.87‰, 150m層は20.28~21.48℃, 34.75~34.90%を示した。透明度は17~29m。水温塩分の垂直分布から中城湾口では中層水のはい上りの傾向がみられるが金武湾口では明らかでない。

昭和49年3月31日

表面は22.0~22.8℃, 34.13~34.76‰で沖合のごく表層が低塩分になっているのは降雨の影響と思われる。150m層は20℃台, 34.87~34.96%を示した。透明度は18~28m。垂直分布では中層水の傾向は明らかでない。

時間	方位	表面温度	表面塩分	150m温度	150m塩分	透明度	その他
05:00		20.8	34.56	19.70	34.74	10	
06:00		21.1	34.76	20.28	34.75	17	
07:00		21.5	34.87	21.48	34.90	29	
08:00		22.0	34.13	20.00	34.87	18	
09:00		22.5	34.76	20.50	34.96	28	
10:00		22.8	34.50	21.00	34.90	25	
11:00		22.5	34.30	20.80	34.85	22	
12:00		22.2	34.15	20.60	34.80	20	
13:00		22.0	34.13	20.40	34.75	18	
14:00		21.8	34.10	20.20	34.70	16	
15:00		21.5	34.05	20.00	34.65	14	
16:00		21.2	34.00	19.80	34.60	12	
17:00		21.0	34.00	19.60	34.55	10	
18:00		20.8	34.00	19.40	34.50	8	
19:00		20.6	34.00	19.20	34.45	6	
20:00		20.4	34.00	19.00	34.40	4	
21:00		20.2	34.00	18.80	34.35	2	
22:00		20.0	34.00	18.60	34.30	0	